

平成 25 年第 8 回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

12月16日～12月18日

質問順位

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 . 近 藤 久 子 | 2 . 横 路 政 之 |
| 3 . 松 浦 昇 | 4 . 門 脇 俊 照 |
| 5 . 岡 村 信 吉 | 6 . 政 野 太 明 |
| 7 . 徳 永 泰 臣 | 8 . 坂 本 義 明 |
| 9 . 吉 方 明 美 | 10 . 谷 口 隆 明 |
| 11 . 宇江田 豊 彦 | 12 . 五 島 誠 |
| 13 . 田 中 五 郎 | 14 . 福 山 権 二 |

庄 原 市 議 会

平成25年12月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	近藤久子	庄原市地域防災計画(震災対策編含む)について	1
		児童、障がい者及び高齢者への虐待並びにDVへの対応について	2
		聴覚に障がいのある方への対応について	2
		出産祝い金及び入学祝い金について	3
		庄原市民会館の長寿命化計画について	3
2	横路政之	障がい福祉について	4
		障害者優先調達推進法について	5
		「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて	6
		猛暑対策につて	6
3	松浦 昇	市民福祉団体と協働を強め「市民が主人公」で安心して生活できる地域づくりをめざして	7
		障害者の外出を支援する制度の充実を	8
		設計労務単価の引き上げを公共事業の質の向上と技能労働者及び下請労働者等の待遇改善に活かすことについて	9
		イノシシによる被害を減少させ安心して農業生産ができる地域づくりを	11
		行政の力で年末を安心して迎えられよう、市民の味方になってほしい	12
4	門脇俊照	庄原いちばん基本計画について	13
		ブランド名「比婆牛」の復活について	13
		庄原市斎場の建設について	13
		本庁舎駐車場の再整備について	13
5	岡村信吉	施策実施における基礎的な条件について	14
		観光事業の振興について	14
		有害鳥獣防除事業について	15

順位	質問議員	質問項目	ページ
6	政野 太	スポーツを柱としたまちづくりについて	16
7	徳永泰臣	本市の農業振興策について	17
8	坂本義明	観光行政について	18
9	吉方明美	庄原市環境基本計画の進捗状況について	19
10	谷口隆明	バイオマス利活用交付金事業について	20
		子育て支援の総合的な検討について	20
		木の駅プロジェクトについて	20
11	宇江田豊彦	小中学校教職員の超過勤務削減について	21
12	五島 誠	木質バイオマス利活用プラント整備事業について	24
		庄原いちばん基本計画及び庄原市長期総合計画・後期実施計画の見直し案について	24
13	田中五郎	「庄原いちばんづくり」とは	25
		「地域産業のいちばん」について	25
		「暮らしの安心のいちばん」について	25
		「にぎわいと活力のいちばん」について	26
		庄原いちばん基本計画の財源措置について	26
		超高速情報通信網整備と緊急時音声告知システムについて	26
		人材育成計画について	26
14	福山権二	指定管理者候補者選定審査会について	27
		指定管理者の施設運営責任について	28
		指定管理における事業評価について	28
		バイオマス事業について	28

一般質問日程

12月 16日（月）近藤久子・横路政之・松浦 昇・門脇俊照・岡村信吉

12月 17日（火）政野 太・徳永泰臣・坂本義明・吉方明美・谷口隆明

12月 18日（水）宇江田豊彦・五島 誠・田中五郎・福山権二

順位	1	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原市地域防災計画(震災対策編含む)について	<p>平成25年6月12日に修正された当計画について、次の7点について伺う。</p> <p>(1) この計画は、想定を超える事態が発生する恐れもあることに十分留意して策定されたものだと思う。しかしながら、本年9月に県の地震被害想定調査検討委員会が公表した南海トラフ巨大地震による想定被害は、昨年内閣府が公表した数値を大幅に上回るものであった。今後、地域防災計画の見直しが必要ではないか。</p> <p>(2) 各戸に配布された防災マニュアル、防災マップ保存版を、配布のみで終わらず、もっと有効活用を図るべきではないか。</p> <p>(3) これまで二度にわたり、防災会議において指摘のあった保育所の避難計画について、もっと明文化すべきではないか。</p> <p>(4) 避難所における女性の参画を進め、女性の視点を取り入れた備蓄品等にも配慮するためにも、女性の保健師・保育士等を含めた協議会とすべきではないか。</p> <p>(5) 被災者の心のケアは重要であり、計画の中において、ウエートを高めることが必要ではないか。</p> <p>(6) 自主防災組織の活動状況と未組織地域への対応についてどう認識しているのか。</p>		市長	

順位	1	質問者	近藤 久子	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原市地域防災計画(震災対策編含む)について	(7) 島根原子力発電所の災害対策について記述がないのはなぜか。		市長	
2. 児童、障がい者及び高齢者への虐待並びにDVへの対応について	児童虐待をはじめ、全国的に痛ましい事件が後を絶たない。これに対する本市における相談窓口の充実、啓発活動等、早期発見に向けての取り組みについて伺う。		市長	
3. 聴覚に障がいのある方への対応について	<p>新生児の聴覚検査が実施され、生まれつき耳の聞こえにくい子どもは1,000人に1～2人といわれている。最も不利益を被る状況は、外見上障がいかわからないことに起因する場合が多い。このような中、障害者基本法の改正により、手話が言語であると認められた。本市における対応について、次の5点について伺う。</p> <p>(1) 本庁・各支所における窓口対応や、医療機関との連携は充分であるか。</p> <p>(2) 災害時における救済対策は万全か。</p> <p>(3) 手話通訳者の人材育成への取り組みはいかに。</p> <p>(4) 手話以外にも筆談・口話等、意思疎通のための方法がある。よりスムーズな対応についての研修が必要ではないか。</p>		市長	

順位	1	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 聴覚に障がいのある方への対応について	(5) 就業、高齢者施設への入居における支援はいかに。		市長
4. 出産祝い金及び入学祝い金について	本市でのみ実施されている出産祝い金事業に加えて、庄原いちばんづくりの一環として、平成26年度において入学祝い金事業が計画されている。子育て支援については、祝い金支給といった金銭給付の形態ではなく、確実に子育てに活かされる施策をとるべきではないか、考えを伺う。		市長 教育長
5. 庄原市民会館の長寿命化計画について	この施設は、本市の文化及び生涯学習・講演会の中心的な拠点施設であるが、昭和52年竣工と古く、客席・音響・照明・ロビー・トイレ等の利便性が損なわれつつあることから、平成27年度に長寿命化計画策定業務が実施される予定である。建て替えではなく、リニューアルの手法をとる場合の利用可能年数と、客席数についての考えを伺う。		教育長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 障がい福祉について	<p>見えない障がい、例えば心臓、肝臓、肺など身体の内部に障がいを持つ方がおられる。内部障がい者、内部疾患患者は聴覚障がい者や発達障がい者の方と同様に外見からはわからない障がいを持つ方で、見えない障がいに対する社会的認知が低いため、社会生活のさまざまな場面で多くの困難に直面し、精神的負担を強いられている。</p> <p>このため、外見からわからない障がいを持っていることを示す意味や、社会が障がい者を思いやるプラスアルファの心を持ってほしいとの意味が込められた「ハート・プラスマーク」というものがある。</p> <p>また、見た目ではわかりにくい発達障がいがある子どもなどを対象に、見えない障害があることを示すバッチと、障がい状態などを書き込めるサポートファイルを無料で配布している自治体もある。</p> <p>このような中で本市の対応について、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 見えない障がいを持つ方に対する本市の具体的な取り組みはあるか。</p>		市長	

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 障がい福祉について	<p>(2) 「ハート・プラスマーク」の活用に対する本市の考えはどうか。</p> <p>また、見た目ではわかりにくい発達障がいなどがある子どもに、見えない障がいがあることを示す「見えない障がいをもっています」と書かれたバッチなどを活用してもらうことについて、考えを伺う。</p> <hr/> <p>(3) 視覚的に訴えかける啓発マーク、「ハート・プラス」を作成し、希望される方に提供してはどうか。</p> <p>また、同様に見えない障がいに対するバッチの作成・提供も検討してみてはどうか。</p>		市長	
2. 障害者優先調達推進法について	<p>障害者優先調達推進法が平成24年6月に公布、平成25年4月に施行された。この法律は、障がい者就労施設等からの商品購入、業務委託を優先的に行うよう国や地方公共団体、独立行政法人に求めるものである。</p> <p>本市における、現在の取り組みを伺う。</p>		市長	

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 「いじめ防止 対策推進法」の 制定を受けて	<p>国がいじめ対策を本格化させてから初となるいじめ防止の法律、いじめ防止対策推進法が本年6月21日に成立し、9月28日に施行された。いじめ防止対策推進法は学校に対して、「学校いじめ防止基本方針の策定」、基本計画に基づく、「いじめ対策の具体的な年間計画の作成・実行・検証・修正を担う中核組織の常設」を義務付けたほか、地方公共団体には条例などの形で「地方いじめ防止基本方針」の策定を努力義務としている。</p> <p>本市における、現在の対応を伺う。</p>		教育長
4. 猛暑対策につ いて	<p>今年の夏は昨年を上回る猛暑が続いた。学校、保育所での暑さ対策はどのようになっているのか。</p> <p>また、今年の猛暑の中、ミストシャワーが多く見受けられるようになった。熱中症などが問題になっている近年、公共の場での設置が増加しており、ヒートアイランド対策としても注目を集めている。このミストシャワーを市内の小中学校、保育所に設置してはどうか。来年に向け導入すべきと考えるが、所見を伺う。</p>		市長 教育長

順位	3	質問者	松浦 昇	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>1. 市民福祉団体と協働を強め「市民が主人公」で安心して生活できる地域づくりをめざして</p>	<p>庄原市身体障害者連合会が市に対し、会員の活動に対する要望として、ボランティアによる外出支援を行うことで交流活動を促進し、色々な行事へ気軽に安心して参加できるような条件整備を求められた。</p> <p>これに対し、本市として法に基づく福祉サービス及び地域生活支援等の制度を提供し、要望に応えるとされているが、次の2点について伺う。</p> <p>(1) 合併前においては、町役場・社会福祉協議会の職員が業務として民間団体の行事に参加し、一緒に取り組みをしていた経緯がある。この取り組みが再現できないか伺う。</p> <p>(2) 障害者基本法第6条では、地方公共団体の責務として、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に実施することを求めている。身体障害者連合会が求めている三者懇談の開催について、積極的な対応が必要なのではないか、所見を伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 障害者の外出 を支援する制 度の充実を	<p>福祉タクシー券の使用範囲を見直し、より有効な活用を増やすべきと考える。以前から、三次市と同様にガソリン給油券としても利用できるようにしてほしいとの要望がある。</p> <p>障害者基本法第24条において、地方公共団体は障害者及び障害者を扶養する者の経済的負担の軽減を図るために必要な施策を講じなければならないとされており、当該制度の見直しを強く求め、所見を伺う。</p>		市長

順位	3	質問者	松浦 昇	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>3.設計労務単価の引き上げを公共事業の質の向上と技能労働者及び下請労働者等の待遇改善に活かすことについて</p>	<p>全国的な建設投資の大幅な減少に伴い、公共事業での受注競争によるダンピング受注が激化し、そのしわ寄せが下請業者や建設労働者の待遇悪化をもたらし、社会問題となってきた。そうした中、平成25年3月末に国土交通省は、公共工事に従事する建設労働者や職人の労務費の算定基礎となる設計労務単価を前年度より全国平均15.1%（広島12.0%）引き上げている。このような中で、次の4点について伺う。</p> <p>（1）国土交通省は、平成25年3月末の都道府県への通知において、建設業に若者の従事者が少ない原因として、全産業平均を約26%も下回る給与水準の低さを指摘し、適切な価格での契約及び技能労働者等への適切な水準の賃金の支払いと社会保険等への加入促進を要請している。引き上げられた設計労務単価を、末端の現場で働く建設労働者の賃上げにつなげる仕組みが必要と考える。</p> <p>本市における設計労務単価引き上げによる工事費増額の推計はされているのか。市内建設労働者の賃金上昇額などの調査、確認はされているのか。これらを踏まえた、労働者の待遇改善への仕組みづくりについて、所見を伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	松浦 昇	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>3 .設計労務単価の引き上げを公共事業の質の向上と技能労働者及び下請労働者等の待遇改善に活かすことについて</p>	<p>(2) 例として、東京都日野市は、入札を行う際の総合評価制度の評価項目の中に労務単価を確認する項目を設け、建設労働者への適切な賃金の支払いを義務付けていると聞く。本市も、受注企業に対し、賃金台帳等の写しの提出を義務付けることで労務単価の実態を把握できるよう、労務単価を総合評価項目とすべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(3) さらに国は、法定福利費の適切な支払いと社会保険等への加入を徹底するため、社会保険料を適切に含んだ額による下請契約の指導と支払状況の確認を発注者に要請している。本市において、本年度4月から10月の7カ月間に発注した工事について、下請契約の件数と受注企業(元請)に上記の要請と確認をしているのかどうか伺う。</p> <p>(4) このようなことを踏まえ、公契約条例を制定すべきと考えるが、所見を伺う。</p>		<p>市長</p>	

順位	3	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4.イノシシによる被害を減少させ安心して農業生産ができる地域づくりを	<p>イノシシ被害で市内の農家は大変な状況にある。平成21年～24年（4年間）の被害総額が約5億7,800万円。これに対して市の支援制度による事業費総額が1億8,790万円、捕獲に要した経費が2,600万円となっている。傾向としては、侵入防止柵の設置により年々被害額は減少し、捕獲数においては自衛駆除の頭数が減少している。このような中で、次の3点について伺う。</p> <p>（1）自衛駆除一頭当たり一律5,000円の報奨金となっているが、この額を小型のものは引き下げ、大型のものは引き上げることにより、駆除に弾みをつけ捕獲数を増やすことが被害の減少につながると思うがどうか。</p> <p>（2）わな猟免許取得への支援をさらに充実させ、捕獲数を飛躍的に増やさなければ、侵入防止柵だけでは今以上の被害の減少はできないと思うがどうか。</p> <p>（3）被害を減少させるには、本市単独での取り組みとせず、自治体間といった広域的な取り組みが必要であり、協議会等の設立が急務と考えるがどうか。</p>		市長

順位	3	質問者	松浦 昇	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
5 .行政の力で年末を安心して迎えられよう、市民の味方になってほしい	<p>「灯油高騰、家計に寒風」これは11月28日付けの新聞記事の見出しである。円安が原因で輸入価格が上昇し、灯油18リットル当たりの平均価格が1,800円を超えており、12月としては過去最高水準となる。石油情報センターによると、年間消費量の7割が12月からの4カ月間に集中するとされ、さらに、消費量が増えるにつれ値上がりするとしている。</p> <p>以前から福祉サービスとして、市内の住民税非課税世帯（約7,000世帯）を対象とした福祉灯油支援制度をつくることを提案してきた。国の円安政策を原因として灯油価格が高騰している現在、住民の暮らしを守る市として対策をとるべきと考えるがどうか。</p>		市長	

順位	4	質問者	門脇 俊照	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原いちばん 基本計画につ いて	この計画には、市長の熱い思いの全てが入 っているのかどうか伺う。		市 長	
2. ブランド名 「比婆牛」の復 活について	早い復活を望んでいる一人として、これか らの展望を伺う。		市 長	
3. 庄原市斎場の 建設について	改修が予定されているが、現時点での整備 構想を伺う。		市 長	
4. 本庁舎駐車場の 再整備につ いて	駐車場が狭く市民に不便をかけている。駐 車スペースの拡大等を目的として、再整備が できないか伺う。		市 長	

順位	5	質問者	岡村 信吉	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 施策実施における基礎的な条件について	<p>合併以来、“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市実現のため、庄原市長期総合計画に基づく事業が展開されてきた。また、次期予算編成においては、市長の庄原いちばんづくり構想を加えた新しい方向性も示されたところであり、大きく期待したい。</p> <p>そうした中で、庄原いちばん基本計画及び予算編成基本方針等において前提となる、本市の構造的分野の推移に関して伺う。具体的には、本市の人口推計と、それが与える集落機能への影響について、認識を伺う。</p>		市長	
2. 観光事業の振興について	<p>かねてから基幹産業振興と併せ、主要産業と位置づけられている観光産業振興。本市の有する豊富な観光資源の活用はもちろんであるが、加えて計画されていた国の高速道路網の整備もほぼ完了し、事業展開の環境は整いつつある。</p> <p>観光産業は全国的にも競争合戦と言われる。本市としても早急かつ目に見える具体的取り組みを期待したい。次の3点について伺う。</p> <p>(1) 平成25年度において観光振興計画策定となっている。策定期限も近い中、進捗状況及び計画の骨子について伺う。</p>		市長	

順位	5	質問者	岡村 信吉	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 観光事業の振興について	<p>(2) 庄原いちばん基本計画、観光振興事業の推進において、平成26年度計画、「広域周遊観光」及び「推進のための仕組みづくり」という項目がある。あらためてその内容について伺う。</p>		市長	
	<p>(3) 観光交流の入口の一つとして、本市の北の玄関口と位置づけ、10億円弱の建設費を投入し完成した道の駅たかのは、開所後すでに8カ月が経過した。玄関口として位置づけた中で、その事業実績及び効果について伺う。</p>			
3. 有害鳥獣防除事業について	<p>本市は、イノシシ被害に対し、防除及び捕獲対策に積極的な取り組みを行っているが、稲を中心とする被害は後を絶たない。こうした状況の中で、次の3点について伺う。</p>		市長	
	<p>(1) 平成25年度侵入防止柵設置事業の実績及び効果はどれほどか。</p>			
	<p>(2) イノシシ捕獲頭数について、平成23年度に比べて平成24、25年度と減少している。この要因をどう分析しているか。</p>			
<p>(3) 侵入防止柵設置による防除にも限度があり、捕獲による被害防止の希望を各地で聞く。捕獲における対策強化について伺う。</p>				

順位	6	質問者	政野 太	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. スポーツを柱としたまちづくりについて	<p>(1) 現在本市には、各地域に多くのスポーツ施設が存在するが、地域づくりに資することを目的とした、それら施設の有効活用について、考えを伺う。</p> <p>(2) 2020年東京オリンピック開催に伴い、国内強化選手の招致等、本市として何らかの活動を行う思いはないか、考えを伺う。</p> <p>(3) 本市出身者で、スポーツ界において活躍する選手に対して、本市としてどのようにエールを送るのか、考えを伺う。</p>			市長

順位	7	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1.本市の農業振興策について	<p>(1) TPP (環太平洋パートナーシップ) 協定が本市の農業に及ぼす影響と今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 国によるコメの生産調整(減反)廃止に伴うコメ政策の転換が決まったが、本市への影響と今後の対応について伺う。</p> <p>(3) 庄原いちばん基本計画の中の「ブランド化の推進」について、その内容を伺う。</p> <p>(4) 庄原いちばん基本計画の中の「6次産業の育成」について、その内容を伺う。</p> <p>(5) 今後の本市の農業振興には地域おこし協力隊の活用が重要と考えるが、その現状と今後の方向性について伺う。</p> <p>(6) 農業振興を図り、農家の生産意欲を向上させるためにも、農産物をイノシシ・サル・シカ等から守る取り組みが必要と考えるが、被害の現状と今後の有害鳥獣被害防止対策について伺う。</p>		市長	

順位	8	質問者	坂本 義明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1.観光行政について	本市への入り込み観光客を、単なる日帰り型のものではなく、宿泊を伴う形態に変えることが重要と考えるが、その方策をどのように考えているか伺う。		市長	

順位	9	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市環境基本計画の進捗状況について	<p>(1) 平成20年3月に策定された環境基本計画は、平成27年度までの8年間を計画期間として実施するとされている。</p> <p>また、2年ごとにその進捗状況を公表するとされているが、次のことについてどのような状況になっているか伺う。</p> <p>ごみの減量化の取り組みはどの程度達成されているか。</p> <p>廃棄物の有効活用の取り組みはどの程度達成されているか。</p>		市長
	<p>(2) 人口が減少傾向にあるが、ごみの排出量に変化はあるか。</p>		
	<p>(3) 現在、ごみ焼却に必要な経費はどれくらい要しているか。(1kg当たり)</p>		
	<p>(4) 市民負担額は、近隣自治体と比較して、高いのか、安いのか。</p>		
	<p>(5) 廃棄物の資源化を進めるとしているが、現在、焼却ごみとして廃棄されているものの中に、「紙おむつ」がある。これの有効活用を検討されてはどうか。</p>		

順位	10	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. バイオマス利 活用交付金事 業について	<p>(1) 民間企業による調整運転の見通しは。</p> <p>(2) 農林水産省の大臣官房長通知(平成19年9月21日)、食料産業局長通知(平成24年8月9日)などから判断して、本市の該当事業の継続は、困難と判断する。市として確かな見通しはあるのか。</p>		市長
2. 子育て支援の 総合的な検討 について	<p>県下一徹しい本市の財政状況のもとで、出産祝い金のわずかな見直しと、新しい祝い金の創設には疑問を感じざるを得ない。子育てに係る負担軽減策にはさらなる努力を求めたいが、一時金的な支援よりも子育てへの質的な支援こそ必要なのではないか。</p> <p>あたたかく豊かな子育て・教育で誇れる庄原市にしたいものだが、考えを伺う。</p>		市長
3. 木の駅プロジ ェクトについ て	<p>この事業は、取り組まれているどの地域でも、相当な準備期間と山を守る地域住民の様々な取り組みの盛り上がりの中で実施されている。新年度に試行実施の予定だが、本市ではどのような手順で推進する考えか伺う。</p>		市長

順位	11	質問者	宇江田豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 小中学校教職員の超過勤務削減について	<p>小中学校教職員の超過勤務について、これまでたびたび指摘をしてきたが、昨年12月議会での答弁以降、具体的にどのように改善をされているのか、次の6点について伺う。</p> <p>(1) 昨年の答弁で、現状分析について、「目標として月80時間を超えないように実態把握をし、合わせてその改善に向けての取り組みをその都度指導しているが、まだ達成はできていない」とされたが、昨年に比べてどのように改善されたのか。また、今年の現状を踏まえた分析をどのようにされているのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 超過勤務の一定の基準とされている月80時間というのは、あまりにも大きすぎるのではないか。昨年の答弁でも、「80時間以下だからいいとは思っていない。元気で子どもの前に立つことが重要であり、業務改善をする中で在校時間を減らしていくことが大事だ」とされた。そこで、この基準である月80時間の目標を見直すべきだと思うが、考えを伺う。</p>		教育長

順位	1 1	質問者	宇江田豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1 . 小中学校教職員の超過勤務削減について	<p>(3) 本市において、学校衛生委員会を設置しなければならない規模の学校はないが、それに準じた委員会を設置し、昨年は4月から10月までの間に、26校において157回開催しているとの答弁があったが、本当に全て機能しているのか。委員会で議論された内容が全職員に伝わり、業務改善策が示されているのか。形式的ではなく、活用されるシステムは確立しているのか伺う。</p> <p>(4) 県教育委員会では、超過勤務軽減へ向けて、研修の削減等に取り組むようになってきていると聞く。本市においては、合併前の枠組みでの研修会がまだ残っていると聞かすが、このことも負担の要因となっているのではないか。また、超過勤務を誘発しているであろう指導案策定、公開授業、提出文書等については、どのようなになっているのか伺う。</p> <p>(5) 多くの教職員が、児童・生徒と直接ゆっくり話をしたり、遊んだりする時間がなかなか取れないという実態について、昨年の答弁では、「学校規模、児童生徒の実態、教職員個々の状況等によって差はあるものの、子どもと向き合う時間が十分でない学校もあると認識している」とされたが、本年1年でどのように改善されたのか伺う。</p>		教育長	

順位	11	質問者	宇江田豊彦	
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 小中学校教職員の超過勤務削減について	<p>(6) 学校現場における次世代育成支援の特定事業主行動計画に掲げられた数値目標が、どのように達成されているのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年次休暇の平均取得日数 ・ 在校時間 ・ 男性職員の育児休業取得 など <p>また、昨年 of 答弁において、「教職員にアンケート調査をしたところ、年休等の取得にためらいを感じるのは、職場に迷惑がかかるからとの理由が多くあり、年休の計画的な取得についてためらいを感じない職場づくりを進める」とのことであったが、どのような取り組みをされたのか伺う。</p>		教育長	

順位	1 2	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.木質バイオマス利活用プラント整備事業について	(1)木質バイオマス利活用プラント整備事業が休止して3年が経過した。あらためて本事業の問題点をどのように認識しているのか伺う。		市長
	(2)調整運転及び検討委員会設立の時期について伺う。		
	(3)本事業の休止以降、どのくらいの市費をこの対応につぎ込んでいるのか。		
	(4)以上の点を踏まえて、今後この事業の方向性をどのように考えているのか。		
	(5)本事業に関する説明責任をどのように果たすのか。		
2.庄原いちばん基本計画及び庄原市長期総合計画・後期実施計画の見直し案について	庄原いちばん基本計画及び庄原市長期総合計画・後期実施計画の見直し案が出されたが、次の2点について伺う。		市長
	(1)今日までのあらゆる施策を検証、検討された上での計画策定及び見直しと考えるが、その結果はどのようになっているのか伺う。		
(2)庄原いちばん基本計画とは一体何であるのかあらためて伺う。			

順位	13	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 「庄原いちばんづくり」とは	<p>(1) いちばんづくりの「いちばん」とは、数値や量、順位などを基準としたものではないとされた。「数値目標」を示さない政治、行政はあり得ないと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 庄原いちばん基本計画をまとめるに当たって、市長が特に指示された政策3分野の方針は何であったのか、あらためて伺う。</p>		市長
2. 「地域産業のいちばん」について	<p>(1) 庄原いちばん基本計画の政策3分野のうち、「地域産業のいちばん」が最優先と考えるが、前年度比約1,000万円増としている平成26年度の主要な事業は何か伺う。</p> <p>(2) 国のコメ政策は大転換されたが、それに対しての施策が基本計画にない。本市はどう対応するのか伺う。</p>		市長
3. 「暮らしの安心のいちばん」について	<p>(1) 平成26年度の予算編成方針に、「徹底したスクラップ・アンド・ビルド」「選択と集中」「受益者負担の見直し」「行政の関与のあり方」等が示される中で、庄原いちばん基本計画「暮らしの安心のいちばん」に破格の予算を計上予定だが、その思いは何か伺う。</p> <p>(2) 基本計画において、平成26年度は現金支給的と思われる子育て支援が約7,600万円増、敬老祝金が25万円増と拡大しているが、一方で「魅力ある教育づくり、地域づくり」をどのように考えているのか伺う。</p>		市長

順位	13	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. 「にぎわいと 活力のいちば ん」について	<p>庄原いちばん基本計画の平成26年度では、</p> <p>(1) 観光振興事業の推進に500万円の予算を 予定されているが、その事業を担当する「人 材」について、どう考えているのか伺う。</p> <p>(2) 定住対策について、奨励金予算を1,400 万円予定されているが、「定住したいと実感 できる条件整備施策」はないのか伺う。</p>		市長
5. 庄原いちばん 基本計画の財 源措置につい て	<p>庄原いちばん基本計画の実施に当たり、平 成25、26年度に新たな負担となる約3億1,500 万円に対して県の補助金は650万円に過ぎな いが、財源確保への基本姿勢は何か伺う。</p>		市長
6. 超高速情報通 信網整備と緊 急時音声告知 システムにつ いて	<p>(1) 庄原いちばん基本計画において、超高 速情報通信網及び告知システムの整備費と ランニングコストを試算されているが、「投 資効果額」はどう試算されているのか伺う。</p> <p>(2) 基本計画におけるこれらの整備方針は 不十分であると思うが、「庄原いちばん」の 達成についてどう考えているのか伺う。</p>		市長
7. 人材育成計画 について	<p>(1) 「人材無くして何もなし」と言われる中、 庄原いちばん基本計画に人材育成の記述は 皆無だが、人材育成についての考えを伺う。</p> <p>(2) 関連して、職員研修事業の平成24年度 決算状況を評価した上で、平成26年度の対応 をどう考えているのか伺う。</p>		市長

順位	14	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 指定管理者候補者選定審査会について	<p>(1) 現在、185施設で指定管理者制度を採用しているが、選定審査委員によって管理者選定したもののうち、指名したものと公募によるものについて、それぞれの件数を伺う。</p> <p>(2) 審査会の会議内容を公開できないとされているが、その根拠となる著作権、特許権、特別なノウハウ、経営活動上の地位、財産権、その他の利害等を害する恐れのあるものの件数及びその内容を伺う。</p> <p>(3) 申請者の中から、総合的に審査し、最も適当と認めることの経過は公開し、この判断は適性であると公にすべきではないか、見解を伺う。</p> <p>(4) 庄原市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第3条の趣旨を踏まえ、選定審査会の審査を審査委員間の協議によって実施することとすべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(5) 選定審査会で審査する公の施設の指定管理者選定の際、利用する市民の代表が審査会に参画することが必要だと考えるが、見解を伺う。</p>		市長

順位	14	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 指定管理者の 施設運営責任 について	<p>(1) 指定手続等に関する条例第3条に指定管理者の運営責任が明示されている。同条第1号に示されているサービス向上が図られているかどうかの判断基準は何か伺う。</p> <p>(2) 施設の管理運営が指定管理者によらない時期と比較して、サービスが向上していると判断されているが、施設を利用する市民の見解がどう反映されているのか伺う。</p> <p>(3) 公の施設を指定管理者に管理運営させる中で、その施設を日常的に利用する市民からサービスの低下を指摘された場合、市はどのように対応しているのか。</p>		市長
3. 指定管理における事業評価について	指定管理者が管理運営する事業に関する「事業評価制度」は、既に制度化されたのかどうか。加えて、どのように運用されようとしているのか伺う。		市長
4. バイオマス事業について	<p>(1) この事業について、現時点における公判の状況、事業継承の可能性、事業の展望について見解を伺う。</p> <p>(2) この事業経過について、市は事務手続きに問題はないとしているが、第三者委員会の指摘は妥当であると議会答弁している。第三者委員会のどの部分を妥当だととらえているのか伺う。</p>		市長